

[様式14-表] 第二種奨学金 (海外) 編入学奨学金継続願 (編入学の1)

独立行政法人日本学生支援機構理事長 殿

下記のとおり編入学しましたので、引続き奨学金貸与の継続をお願いします。
 また、卒業期が延びる場合には、返還総額が増すことを理解したうえで、独立行政法人日本学生支援機構学資金の貸与期間(終期)を下記のとおり延長することを願います。なお、返還誓約書(兼個人情報取扱いに関する同意書)で確認し、誓約した内容に加えて、貸与期間(終期)の延長に係る一切の債務に関しても、確認書並びに返還誓約書(兼個人情報取扱いに関する同意書)及び日本学生支援機構諸規定に定める取扱いに従うことを誓約します。

8										0																													



学校名

従前の在籍学校				編入学後の在籍学校			
学校名				学校名			
学部・課程、学科名				学部・課程、学科名			
最終在籍年月	年	月	退学／卒業・修了(該当に○)	編入学年月	年	月	より在籍
				卒業(修了)予定年月	年	月	卒業予定
「奨学金貸与月額変更願(届)」の提出の <input type="checkbox"/> 提出しない <input type="checkbox"/> 提出する							

■ 貸与総額が増加する場合は記入してください。(貸与期間(終期)の延長等)

変更後の借入金額(予定)											円
--------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---

※現在の奨学生番号の貸与始期から編入学後の卒業予定期までの総額を計算して記入してください。(入学時特別増額貸与奨学金分を含む。)
 ※借入金額を訂正する場合は、裏面の借入金額の訂正方法を参照してください。

※ 貸与総額の増加に伴い保証料月額が変更となります。
 ※ 「奨学金貸与月額変更願」を同時に提出する場合は、「変更後の借入金額」欄には月額を変更したうえで編入学後の卒業予定期までの総額を計算して記入してください。

〔連帯保証人・保証人記入項目〕

※連帯保証人・保証人それぞれの自署と実印での押印、及び添付書類として印鑑登録証明書(各1通)が必要です。
 ※機構届出の連帯保証人又は保証人が債務整理(破産等)中の場合は、本願提出前に「連帯保証人・保証人等変更届」を提出してください。

※印鑑登録証明書を添付	私は、上記の貸与期間(終期)の延長により貸与総額が増加することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで本人と連帯して保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。										
	機構届出の連帯保証人	住所			氏名	(自署)	実印	電話番号	()	生年月日	年 月 日
								(昭和・平成)			
※印鑑登録証明書を添付	私は、上記の貸与期間(終期)の延長により貸与総額が増加することを承諾し、記載の奨学生番号によって本人が負担する一切の債務につき、奨学金の返還の完了まで保証し、関係法令及び返還誓約書等にしたがって債務履行の責を負います。										
	機構届出の保証人	住所			氏名	(自署)	実印	電話番号	()	生年月日	年 月 日
								(昭和・平成)			

■ 本人が未成年者の場合のみ記入

上記の者が、現在貸与を受けている奨学金について本申請を行うことに同意します。

親権者又は後見人	住所												電話番号	()
	(親権者・未成年後見人) 氏名(自署)										実印	(昭和・平成)	生年月日	年 月 日
親権者又は後見人	住所												電話番号	()
	(親権者) 氏名(自署)										実印	(昭和・平成)	生年月日	年 月 日

ご記入いただいた情報及びあなたの奨学金に関する情報は、機構の奨学金支給業務、奨学金貸与業務(返還業務を含む)及び在籍する学校での授業料等減免業務のために利用されます。この利用目的の適正な範囲内において、当該情報(奨学金の返還状況に関する情報を含む)が、学校、金融機関、文部科学省及び業務委託先に必要に応じて提供されますが、その他の目的には利用されません。機関保証加入者については、機構が保有する個人情報のうち保証管理に必要な情報が保証機関に提供されます。また、行政機関及び公益法人等から奨学金の重複受給の防止等のために照会があった場合は、適正な範囲内においてあなたの情報が提供されます。

[様式14-裏]

1. 提出書類

- (1) 第二種奨学金(海外)編入学奨学金継続願(編入学の1)
- (2) 第二種奨学金(海外)異動願(復活)
- (3) 従前の在籍校の最終在籍年月がわかる証明書(日本語訳添付)
従前の在籍校の発行した「退学証明書」または「成績証明書」などで、最終在籍年月が確認できるもの。
- (4) 編入学後の在籍校の「在籍証明書」(日本語訳添付)
編入学後の日付で発行された、編入学後の在籍校の発行した在籍証明書で、次の事項が明記されているもの。
記載必須事項: 入学年月、卒業予定年月、取得する学位
- (5) 単位移行が証明されるもの(日本語訳添付) ※単位移行がない場合は、継続願は承認されません。
編入学後の在籍校の発行した「成績証明書」または「履修証明書」などの証明書で、次の事項が明記されているもの。
記載必須事項: 従前の学校名、編入学後の学校名、
単位移行内容(具体的な単位移行元学校名、具体的な移行単位名、具体的な移行単位数など)
例:A大学から、Bという授業を移行し、C大学の5単位に置き換えた、といった形式の記載のある証明書
- (6) 連帯保証人・保証人の「印鑑登録証明書」(原本。各1通)・・・(貸与期間(終期)の延長を伴う場合のみ)

2. 提出期限

「編入学奨学金継続願(編入学の1)」は編入学後3か月以内に提出してください。

3. 貸与期間の延長により貸与総額が増額となる場合の借用金額の計算例

- (1) 進学届提出時に申請した内容:
A大学に2018年4月に入学し、2020年3月に卒業予定。2018年4月貸与始期で貸与期間は24か月。貸与月額100,000円
貸与開始に伴い提出済みの返還誓約書の借用金額(当初の貸与予定の借用金額)
(A大学) $100,000円 \times 24か月 = 2,400,000円$
※ 24か月・・・2018年4月～2020年3月 (進学届提出時に申請した貸与期間)
- (2) B大学への編入学に伴い申請する内容:
A大学を2019年6月に退学。A大学での貸与期間は15か月。
B大学に2019年7月に編入学し、2020年7月に卒業予定。貸与期間は13か月。
編入学による貸与期間の延長に伴い変更となった後の借用金額(今回の願い出に伴う変更後の借用金額)
 $100,000円 \times 15か月 + 100,000円 \times 13か月 = 2,800,000円$
(A大学) (B大学)

4. 変更後の借用金額(予定)欄の訂正方法について

奨学生に採用された後に月額の変更や貸与期間の延長・訂正に伴い、借用金額(予定)を増額する場合は、「返還誓約書」に記載した借用金額の増額となるため、本人及び親権者(本人が未成年者(20歳未満)の場合)に加え、連帯保証人と保証人にも同意を得た上で署名捺印(実印)と印鑑登録証明書の添付が必要です。そのため、「変更後の借用金額(予定)」を誤って記入した場合は、次のとおり訂正が必要です。

「変更後の借用金額(予定)」の訂正方法: 次の①②のいずれかの方法で訂正してください。

- ① 借用金額全体を二重線で抹消し「訂正印」を押し、余白に正しい金額を記入。本人印に加え、連帯保証人と保証人の実印による訂正印が必要。
- ② 新たな用紙に記入する。

【訂正方法】変更後の借用金額(予定)を誤った場合について

- ① 誤った借用金額に二重線を引きます(1円の単位まですべての数字を抹消してください)

変更後の借用金額(予定) 2215000円

- ② 二重線の上に、訂正印を押印してください。

本人印・連帯保証人実印・保証人実印を重ねないように押印。

変更後の借用金額(予定) 2215000円

本人 連帯保証人 保証人

- ③ 正しい金額を訂正した欄の上部余白に、はっきりと記入してください。

変更後の借用金額(予定) 4800000円

本人 連帯保証人 保証人